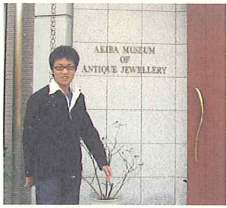


体験教室

那須には様々な体験教室があります。
今回は3つの教室を山水閣の〇〇トリオがご紹介します。

シルバージュエリー教室

～サービススタッフ 月井 優二～



穂葉アンティークジュエリー美術館さんのシルバージュエリー教室に参加しました。「純銀粘土」(シルバークレイ)を使用し、初心者でも簡単に創作が楽しめます。

シルバージュエリー教室のご案内

予 約 制 毎週 日曜日 13:00～14:45
(土曜、祝日も実施の場合があります。直接お問い合わせ下さい。)
参 加 費 2,500円(純銀粘土他教材費込み)
別途入館料 大人1,000円 高大生800円 中学生600円 小学生以下無料
ご予約、お問い合わせ
穂葉アンティークジュエリー美術館 電話 0287-76-4580



1.ちょっと緊張!
型を決めてスタートです。
2.スピードが肝心!粘土が乾燥して柔軟性を失ってしまうので、短時間(20秒程度)で一気に伸ばすことがポイント
3.先生が丁寧にアドバイスしてくれるので安心です。
4.ヘラでデザインをつけていきます。仕事するとき以上に真剣な表情です。
5.ヤスリがけで角をとります。
6.ドライヤーで乾燥させ固めます。
7.780℃で焼いたあととブラシをかけたとシルバーに!
8.最終工程 ツヤ出し作業(ツヤをださなくてもいいです。)
「月井おつかれさま。」
「おもしろかったです。」
「それはよかったね。ところでそのリング月井にはちょっと小さくない?」
「うーん。失敗しちゃったみたいですよ。」
「ふーん。」
月井.ほんとは誰にあげるの?

そば打ち体験

～サービススタッフ 杉山 昭紀～



そばが好きな僕は、何度かそば打ちを体験しているのですが、高林坊さんの教室は、先生の技術をきっちり教えてくれると評判でしたので参加しました。

そば打ち体験のご案内

予 約 制 月、火、水、金曜の13時以降が基本です。
(土・日はお問い合わせください)
参 加 費 ひとり1,500円(そば粉、指導料込み)
ご予約、お問い合わせ
農村レストラン高林坊 電話 0287-68-7775



1.教室の裏は一面のそば畑
2.そば打ち体験スタート
3.先生の技術はすごい!見本のそば打ち体験とは違い、細かい技術までちゃんと教えてくれます。時には厳しく、時にはやさしく。
そば打ちはそれぞれの工程毎に奥が深く、この世界にはまっぴらという人が多いことですよ。貴重な体験をさせてもらいました。
4.月井さんに負けられない!真剣な表情になってしまいました。
5.麺棒の扱いが難しい!
6.いよいよ切ります。
7.完成です。先生ありがとうございました。
8.自分で打ったそばはとりの高林坊さんで茹でてもらい天ぷら付きで食べられます。

陶芸教室

～調理スタッフ 今村 正輝～



以前より興味があった、ぎやらりー瀧さんの陶芸教室に参加しました。

今村 「先生よろしくお願ひします。」
先生 「手びねりコースと本格的なロクロコースがあるけど、どちらにしますか?ロクロコースを選んでもらうと弟子に接するように指導も厳しくなってしまうけど…」
調理場でいつも鍛えられている私は、今日くらいはやさしい指導を受けたいと思っていたのですが、そんな考えとは裏腹に、口が勝手に動いてしまいました。
今村 「ロクロでビシビンお願ひします。」
先生は少しうれしそうににんまりとしました。

陶芸教室のご案内

予 約 制 実施日時は直接お問い合わせ下さい。
参 加 費 手びねりコース2,000円
粘土500g 作品1点焼成 追加1点につき +500円
ロクロコース 湯飲み2,000円～茶碗2,500円～十指導料1,000円(1グループ)
出来上がりまで約1ヶ月 送料は別途1,000円
ご予約、お問い合わせ
ぎやらりー瀧 電話 0287-63-7423



1.「ロ、ロクロでお願ひします。」
2.作業前。緊張感が高まっています。
3.着替えて準備OK
4.粘土をこねる(とても難しいが、料理の下ごしらえにあたる大切な作業)
5.どんな器にするか考案中
6.ロクロ初体験!(厳しさの中にやさしい指導)
7.ああやっちゃった。(失敗、ぐにゃぐにゃ、自信喪失)
8.先生に修正いただき元気復活
焼き上がり完成まで1ヶ月ほどかかるそうです。雪が降る前には、自作のカップで山水閣自慢のうまいコーヒーを飲んでほしいと思います。
9.完成間近(慎重に…) 10.完成!!(どうだあ〜) 11.先生ありがとうございました

編集後記

今回挑みました体験教室。3人とも真剣でした。満足感と新しい可能性を発見したようです。新しい自分発見に最適です。ぜひチャレンジしてみてください。
山水閣は冬支度に入ります。
今年は猛暑だった分、大雪が降るとか、やっぱり暖冬じゃないかとか様々な憶測が飛び交っています。いずれにせよ、お客様が気持ちよく過ごされますよう、準備万端お待ちしております。



那須高原の宿 山水閣
SANSUIKAKU
発行 山水閣だより編集部
325-0301
栃木県那須郡那須町湯本206
TEL 0287-76-3180
FAX 0287-76-3080
http://www.sansuikaku.com



那須別邸 回
www.bettei-kai.jp

